

編集後記

学年末、入試と忙しい季節も終り、卒業生を社会へ送り出す一方、意欲をもった学生を迎える準備で、大いに期待をもてる今日この頃かと思いません。

今回は広い分野からのご投稿を頂き、ご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げますと共に、21世紀へ向けて、時代に添った女性学を、皆様方と共に、今後も考えてまいりたいと思っております。(M. N)

女性学インスティテュートの着実な歩みのなかへ初めて編集に加えていただき、投稿いただいた原稿を読ませていただくうちに一歩女性学への目が深まった思いがしています。

社会や生活の場において女性の役割等を今後更に女性学を身近なものとしてとらえていきたい。(N. T)

お寄せいただいた多様な「女性学」評論が、活字に、本にと仕上げられていくのを、ただ眺めているだけでした。議論の熱気を感じるだけに、「眺めている」のは少し「佗しく」、そして感謝を思うものでした。ありがとうございました。(T. U.)



神戸女学院大学 女性学評論 第4号

印刷 1990年3月30日

発行 1990年3月31日

発行人 別府恵子

編集委員 別府恵子、中原満子

谷 祝子、上西妙子

(アルファベット順)

題字 溝口芳子

印刷所 尼崎印刷株式会社

〒660 尼崎市北大物町16番55号

TEL 06-481-0707

発行所 神戸女学院大学女性学インスティテュート

〒662 西宮市岡田山4-1

TEL 0798-52-0955